



# とどろき おおの はら ち く 轟・大野原地区コミュニティ

## 残暑お見舞い申し上げます

晩暑の候、連日強力な日差しと体温並みの気温に見舞われておりますが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。高温と言えは・・・ですが、我が家にて額縁の紐を止めていたテープがはがれ、20年前の少年野球の写真が頭上から落ちてきました。傾いても直すこともしないのでつい落ちて来たかと思ひながら、長年よく粘ったなとテープの技術に感心した一方、最近、両面テープやガムテープがはがれることが多くなったと感じませんか？ディーラーの方からも、車のドライブレコーダーの接着がはがれて落下する事例が複数あったと聞きました。コミュニティのスリッパの先も10足以上はがれました。どうも単なる偶然ではなく、猛暑の影響は少なからずあるようです。アクシデントが起きないように、点検されておくと安心かもしれませんね。

何だかんだと申しまして立秋が過ぎました。早朝と夕暮れに、ひぐらしの鳴く時間がわずかながら長くなっているのにちょっとホッとします。残暑厳しき折、皆様くれぐれもご自愛下さいませ様お祈り申し上げます。

## 健康福祉部会・先進地視察研修「おおき循環センター・くるるん」R4.7.7(木)



30分間のわかりやすい座学

福岡県三潴郡大木町(みずまぐんおおきまち)の、ごみ分別やし尿処理を独自に行い、それらを液肥化し循環させる施設と暮らしを見学して来ました。嬉野からマイクロバスで1時間半、柳川市に隣接する人口約14,000人の農業の町は、水田とクリークが広がる平野にあり、山に囲まれた嬉野とは景色が違いました(嬉野市人口約25,000人)。循環事業の発端は1996年の廃棄物に関するロンドンダンプン条約の議定書。1999年には当時の町長による先見の明で生ごみ循環構想が提案され、危機感を持って水面下で話し合いが始まっていました。2002年にはついに国内の廃棄物処理法が改正され、浄化槽処理後ですら、し尿海洋投棄が禁止されました。しばらくは隣町に処理を依存していましたが、将来財政を圧迫すると懸念、し尿処理を町内で完結し、ごみを焼却しない方法を構築するため町に環境課が設置されました。町と住民で委員会を立ち上げ話し合いを重ねた末、2006年に循環施設稼働、2010年には道の駅が完成し自然食レストランや産直所の営業も開始。ごみの分別は29種類に及び、とにかくリサイクル。住民の理解を得るのには並々ならぬ忍耐が必要だったろうと、今回見学した皆が感じたようです。市町村合併を選ばず、“田畑で作り・食べ・排泄し・田畑に返す”道を選んだ町へは国内外から見学者がいますが、採用した町は福岡県内の1町のみ。この現実の背景を知るにはさらなる見学・探究が必要かと思ひます。部会を越えて参加してくれた皆さんから感想文もたくさん提出頂き年刊紙に掲載予定です。意義ある研修となりました。ありがとうございました。



し尿を液肥に



遊具広場。ヤギさん広場では白と黒の2頭が仲良く小屋に並んでいました



もったいない冒険の町  
メタン発酵槽  
設計・施工  
M&E 三井造船株式会社

## 今月のお花



さぎそう  
鷺草

ラン科サギソウ属。7～9月に白鷺のような優美な花を咲かせる、寒さに弱い自生ランです。花言葉は「無垢」「清純」そして「夢でもあなたを想う」。背景には世田谷城主・吉良頼康と常盤姫との悲劇があるそうです。素敵なお花は上岩屋区の方からのプレゼントです。ありがとうございました。

健康福祉部会長として参加された山下誠様が8月に逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。